

NO! リニア

No. 85

2014年10月17日

JR東海労働組合

リニア反対プロジェクト

国交大臣リニア着工を認可 断固抗議し撤回を求める!

本日、太田昭宏国土交通大臣は、JR東海が申請していたリニア中央新幹線建設を認可した。JR東海労は、認可に対し断固抗議すると共に、認可の撤回を強く求める。

太田国交相は、閣議後の会見で、南アルプスを貫く長大トンネル工事や温室効果ガス増大などの環境影響について、「国交相意見で求めた環境への措置について、JR東海がすべて対策を行うと言っていることを確認した」と述べ、影響は抑えられるとの認識を示したという。本当にそうなのであるか?

しかし、15日と16日の国土交通委員会において、穀田恵二議員および辰巳孝太郎議員（いずれも日本共産党）からの質問に対し、太田国交相や藤田国交省鉄道局長は、各都府県知事、国土交通大臣、環境大臣それぞれの意見が環境影響評価書（補正版）に反映されたかどうかの確認は調査中と答弁しているのである。一夜にして多岐にわたる問題点が解決できたとは到底思えないのである。まさに、建設ありきの姿勢が浮き彫りとなったといえる。

また、太田国交相は「沿線住民への説明などを重視し、理解を得なければならない」との見解を持ちつつも、住民への不誠実な態度を続けるJR東海に対しては指導すら行っていないのではないのか。あたかもこの日は、リニアを考える市民団体が開催する院内集会の日である。住民のことを考えるなら、大臣自ら院内集会に参加し、直接生の声を聞くくらいの態度を示したらどうか。

JR東海労は、認可撤回の闘い、リニア着工反対の闘いをさらに強化する。